



夏休みチャレンジ教室を開催しました

令和6年7月24日から8月10日にかけて、「夏休みチャレンジ教室」を開催しました。今年度は、科学実験や工作、お金の使い方、ボードゲームで遊ぶなどバラエティー豊かな内容でした。どの教室でも子どもたちは楽しそうに参加していました。



【わくわく実験理科講座】



【めざせ！おかいものマスター】



【ボードゲームで遊ぼう】



新刊案内

《小説》

- 『サンショウウオの四十九日』 朝比奈秋(著) 新潮社
- 『明智恭介の奔走』 今村昌弘(著) 東京創元社
- 『プラチナハーケン 1980』 海堂尊(著) 講談社
- 『ボタン島漂流記』 西條奈加(著) 光文社
- 『命日』 瀬戸内寂聴(著) 講談社
- 『わたしの知る花』 町田そのこ(著) 中央公論新社
- 『がん闘病日記』 森永卓郎(著) 三五館シンシャ

《その他》

- 『70歳を越えたらやめたい100のこと』 中山庸子(著) アスコム
- 『王墓の謎』 河野一隆(著) 講談社
- 『シニアと健康』 谷田泰枝(著) 東海教育研究所
- 『電気の疑問 66』 オーム社(編) オーム社
- 『おのこりスパイス 5種でリピ決定おかず』 印度カリー子(著) 主婦と生活社
- 『スーパーチームをつくる!』 トム・ホーバス(著) 日経BP

《電子書籍》※パソコンやタブレット、スマートフォンから電子書籍を借りて読むことができます

- 『きみはサイコロを振らない』 新名智(著) KADOKAWA
- 『マンガぼけ日和』 矢部太郎(著) 長谷川嘉哉(原案) かんき出版
- 『世界の美しいお城と宮殿 電子版』 ワン・パブリッシング
- 『ネットはなぜいつも揉めているのか』 (ちくまプリマー新書) 津田正太郎(著) 筑摩書房 他

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

おはなし会(会場:本館) 0~2歳くらい(11:00~) 3歳くらいから(11:00~)

休館日 毎週月曜日 毎月最終木曜日 開館時間 本館 10:00~18:00 分室 12:30~17:00

※最新の情報はホームページをご確認ください。



図書館員おすすめの本



『死にたい、ですか』

村上しいこ(著) 小学館 (2018)



児童文学者の村上しいこさんの一般文芸デビュー作品、また作者本人が幼年期よりいじめや虐待を受けていたと知り読みました。いじめが原因で自殺した息子の母親が、加害者にいじめを認め謝罪してほしいと裁判を起こします。被害者家族・加害者の心情の描写、迫力ある法廷シーンに引き込まれます。タイトル通り重い内容ですが、被害者の妹が未来に向かって強く生きていこうとする姿に少し救われた気がします。[ま]

『世界でいちばん透きとおった物語』

杉井 光(著) 新潮社 (2023)



電子書籍がどんどん普及している世の中ですが、「電子書籍化不可能」「紙の本でしか体験できない感動」という宣伝文句に惹かれて読んだ本です。

詳しくは書きません。ぜひ事前情報なしで読んでみてください。

[しっぽ]

『平安ガールフレンズ』

酒井 順子(著) KADOKAWA (2019)



平安時代の女流作家 5 人、彼女たちの性格をその作品から考察したエッセイです。今の時代を生きる私には、理解し難いことが多々あれども、千年前の女性たちの様々な想いを、現代語訳で面白く読むことができました。

[Sno]

『素数ゼミの謎』

吉村 仁(著) 文藝春秋 (2005)

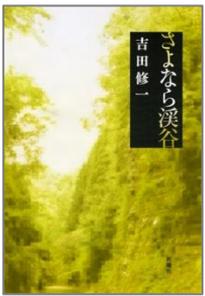


セミはその一生のほとんどを地中で過ごします。日本のアブラゼミやミンミンゼミが 6、7 年の幼虫期間を経て地上にはい出るのに対し、アメリカには 13 年または 17 年を地中で過ごすセミがいるそうです。しかも、一度にごく狭い範囲で大量発生し、その年以外は現れないとか。なぜ幼虫の期間が長いのか、なぜ狭い範囲で大発生するのか、なぜ 13 年と 17 年周期なのか、その謎が解き明かされます。数学が苦手な人もどうぞ。

[ii]

『さよなら溪谷』

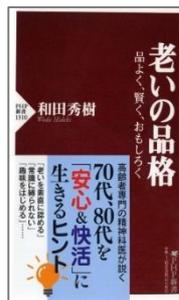
吉田 修一 (著) 新潮社 (2008)



緑豊かな溪谷で幼児殺人事件が起こり実母が逮捕されます。隣に住む若夫婦は事件に巻き込まれ迷惑さみでしたが、この二人には知られたくない過去が…夏のねっとりした汗と鳴りやまない蝉の声が終始聞こえる一冊です。 [凜]

『老いの品格』

和田秀樹 (著) PHP研究所(2022)



70 代や 80 代で安心して快活に生きる方法や幸せにいい歳のとり方をする人々の姿についてヒントを紹介している本です。老いを素直に受け入れ、老いそのものを楽しもうとする人々を「品のある老人」「賢い老人」「おもしろい老人」という三つのカテゴリーに分けて解説しています。 [ぴ]

夏休みも終わり、ちょっと一息といきたいところですが、秋にもイベントが目白押しです。図書館でもギャラリーや特設コーナーにいろいろ展示を予定しています。ぜひお立ち寄りください。[Ma]



電子図書館



みやこ町図書館HP